

<国賠訴訟報告>

1月22日第1回高松高裁控訴審は、支援者、報道陣で傍聴席一杯になりました。梶原弁護士より以下の4名の証人申請が提出されました。決定は3月28日判明。

- ・聞間 元 一厚労省ビキニ研究班の「ビキニ水爆関係資料の線量評価に関する研究」等の分析により、国が被ばくの事実を隠し続ける継続的不法行為を行った事実及び被災船員の被ばくの事実
- ・高橋博子 一日米両政府が被ばくの事実を隠す政治決着を行った背景を明らかにし、日本政府が被ばくの事実を隠し、被災者救済対策を何もしなかった事実及び国の継続的不法行為の存在
- ・増本和馬 一被災船員の被災の事実及び被災者、家族の受けた損害の事実と救済の必要性
- ・山下正寿 一被ばくの隠蔽行為、被災者救済への不作為行為の継続的不法行為性

<これからの活動>**1. 船員保険**

- ① 高知の弁護士に代理人依頼
- ② 高知社会保険事務所への働きかけ＝公開審理の高知開催の要請（テレビ会議含む）打ち合わせ会 2月16日 13:30～15:30 東京・平和と労働会館

2. 「核被災者救済法（仮称）」（議員立法）制定

- ① 県内国会議員への働きかけ
- ② 県庁関係部署との相談—議員立法にむけて

3. 3. 1 ビキニデー

代表派遣予定（報告者）一・28日分科会（第1・核兵器禁止条約—和田忠明、第3・被ばく者とともに—増本原告体験報告・岡村啓佐（写真集）、第7・ビキニ事件—今城隆（DVD・ビキニ事件と高校生調査報告、梶原弁護士、

- ・3月1日全体会（ビキニ事件・国賠訴訟—15分、梶原弁護士報告、紹介—増本原告）

4. 「核被災と核兵器禁止条約」（DVD・CD教材）最終編集—1000枚コピー


- ・「ビキニ事件」紙芝居最終編集—完成後の学校の活用・普及のため、県教委・教育関係機関・団体絵の要請・

5. 支援センターの役割分担

- ・一県・国など対外的な折衝、国賠、保険申請への対応—高知市の代表・副代表メンバー
企画、調査、会計、核被災検証会、市町村・関係機関・研究者への対応—事務局メンバー
- ・10月の室戸総合調査・シンポジウムの準備.

2月13日水曜日 10~12:00 センターと情報公開・講師との相談

13:00 情報公開学習会

 **高知県 高知市 平和資料館 草の家**

- ・写真集「、NO NUKES」の高知県出版文化賞受賞